



iwork-pro.jp

コミュニケーション広報ツール

2023

8

アイ・ワーク News

iwork News Vol.4

新しいメンバーが
ひとり
増えました!

クリックして
Webサイトへ
アクセス



京都の 経済社会を 支える 商人たち



“リーダーしっぽ”
代表取締役社長 福原
T.FUKUHARA

BOOKS

「中京民商 商人・職人 生活史」という面白くて、チョッピリ目頭が熱くなり、京都の経済社会を考えさせられる本を読んだ。

京都新聞(3月23日(木)朝刊)に掲載されてなかったら多分手にすることは無かったと思う。中京民商70周年を記念する「年史」をこういう形で企画を思いついたところに関心もあった。それというのも、日下慶太さんの書いた「迷子のコピーライター(イースト・プレス)」をこの時、読んでいて商店街のポスター制作プロセスと重なるところもありそうなので、ネタ探しの意味合いもあった。

この本には、多種多様な34人の商人・職人さんが登場している。全く知らなかった「露天商」の世界、時々食べに行く「トンカツ屋」さん、知り合いの「税理士」さん、さらに、学生時代「散髪」でお世話になった理髪店(息子さんが引き継いでいた)なども

載って随分身近なところで繋がっていてもいた。学生運動盛んな時代のエピソードも盛りだくさんで、あの時代を思い出す。寂しいけど自分の代で廃業する商店主のインタビューもある。まだ行ったことのない「飲食店」もいくつか紹介されているので、この本をキッカケに是非行ってみようと思論んでいる。書籍全体は、普段使いの言葉を原稿化しているため読みづらいところもあるが、自前で編集した苦労が見えて最後まで読み通した。

表紙の「判子」は、1冊ずつ押印されている。

巻末には、岡田知弘先生(京都大学名誉教授)と松尾匡先生(立命館大学)の寄稿も読み応えがあり、京都新聞以外では、ねっとわーく Kyoto Online (<https://net-kyoto-online.com/archives/3448>) に書籍刊行の経緯を詳しく紹介した記事がアップされている(2023年7月25日アクセス)。



チャタロー 3才

岡山の保護施設からやってきた
赤柴の雄。基本上機嫌。

CAT



CHATARO



KINJI

DOG

キンジ 5才

サバトラの雄。犬と息子には上
から目線。態度のでかいビビリ。

飼 犬
っ ど
て っ
る ち
と も
… 猫、



“デジタルかあさん”
ディレクター 横瀬
M.YOKOSE

「犬と猫どっちも飼っていると毎日たのしい」というマンガをご存知ですか？ Twitterで話題になり単行本も7巻まで出ている人気エッセイマンガのシリーズです。犬くんと猫さまの様子がとても楽しいおすすめマンガです。

で、我が家でも犬と猫を飼っています。

もともと犬派なので、猫を飼う気はなかったのですが縁あって我が家に猫がきました。実際猫を飼ってみると、散歩にいかなくていいし、トイレも勝手に覚えるし犬と比べてお世話が楽なことに驚きました。

猫いいぞ！ たまに逃げて困るけど。(でもやっぱり犬がほしい。)

犬はアイ・ワークに復帰するときに飼い始めました。以前の通勤ルートを全部車に頼って激太りしていたので、テレワークは危険です。運動する機会を作らなければいけません。「私の健康維持には犬

が必要だ」と家族に訴え、犬も飼うことになりました。

SNSで見かける、犬と猫と一緒に寝たりじゃれあったりする様子に憧れていたのですが、実際はお互いがお互いに興味なし。2匹と一緒にいることがまずないので、憧れのシチュエーションはおとずれませんでした。まあ、仲良くないけど喧嘩もしないので、安心といえば安心です。

でもちょっとずつお互いに影響しあっているようで、猫は犬が来る前より甘えん坊になったし、犬はときどき猫みたいに2本足でチュールを食べます。一緒にいなくてもそれぞれが、面白おかしいことをしているのでスマホは2匹のデータでいっぱいです。(子どもより多くなってきたかも)

そんな横瀬家の犬と猫、これからも時々誌面に登場させようと思います。よろしくお願いたします。



犬と猫
どっちも飼っていると
毎日たのしい①

講談社(2018/6/13発売)
松本 ひで吉(著)

アイ・ワーク
News

iwork News
Vol.4
2023.8

有限会社 アイ・ワーク

〒603-8142 京都市北区小山北上総町10-1 MYCROFTビル2F
TEL 075-494-2686 E-MAIL news@iwork-pro.jp

i work